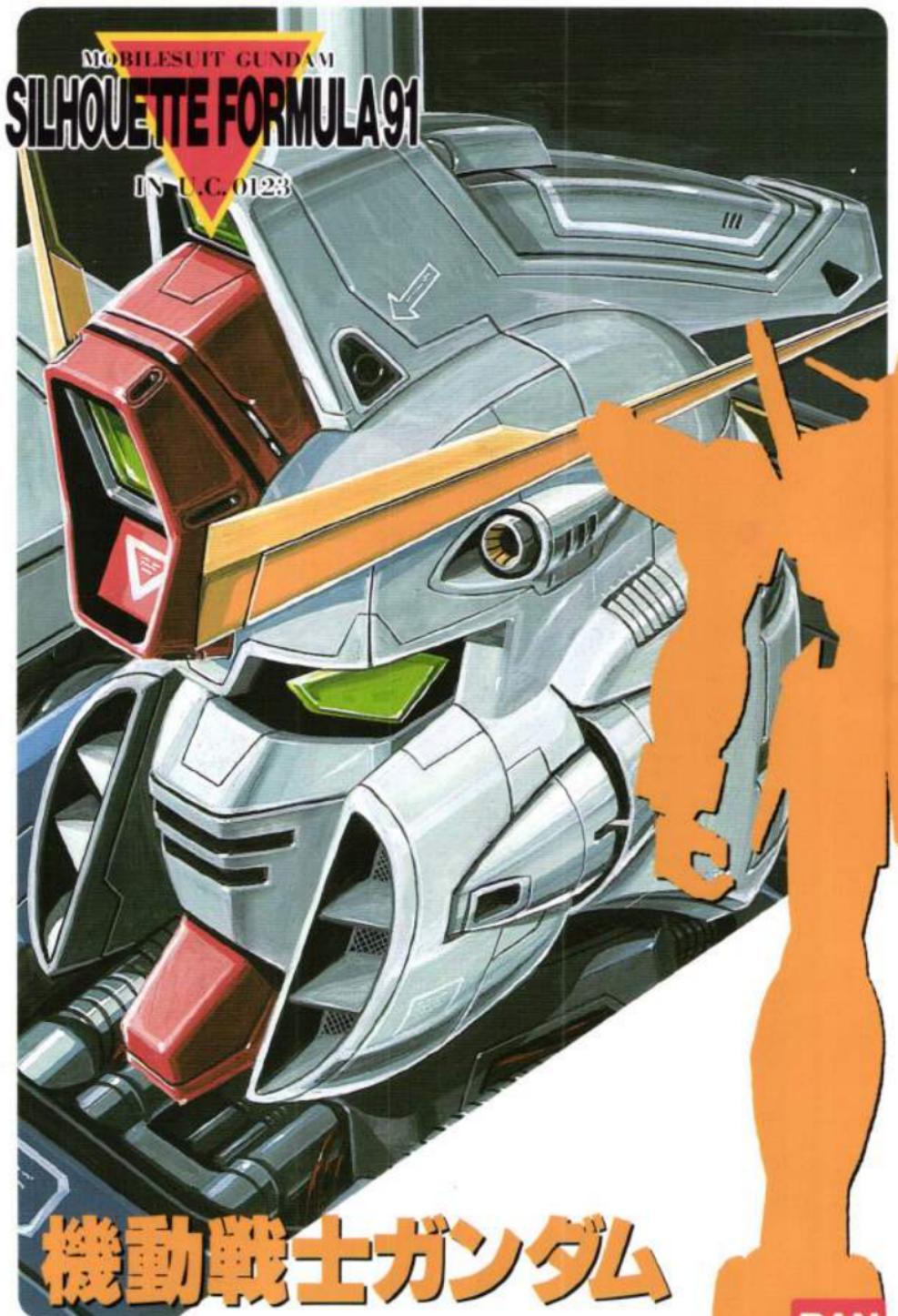


MS HAND BOOK

MOBILE SUIT GUNDAM
SILHOUETTE FORMULA
OFFICIAL HAND BOOK

モビルスーツハンドブック



BANDAI

な歴史がここに始まる



●メカニカルデザイナー

大河原邦男氏

“Mobile Suit Variation”

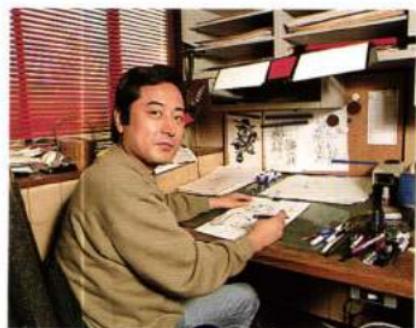
それは、1983年4月に発売された、144分の1スケール“MS-06R ザクII”、“MS-06K ザクキャノン”、に始まるガンダム・プラモデルシリーズの総称です。これらのバリエーションデザインは「一年戦争」時の設定に基づくMSでしたが、あれから約10年の月日を経て新たなる“MSV”が誕生しました。

’91年3月に公開された劇場作品「機動戦士ガンダムF91」は、“小型MS”という、これまでとは異なるコンセプトのMS群を生み出しました。これらの新MSは1/100スケールで統一される「F90」と「F91」というプラモデルシリーズとして商品化され、ガシャポン、コミック、ゲームソフトと展開され、多くのガンダムファンの皆様に好評を博しました。

この「F90」と「F91」シリーズから派生した小型MSのバリエーションが、“シルエットフォーミュラ”です。

原案は矢立肇・富野由悠季の両氏、構成はサンライズ企画室の井上幸一氏が中心になって担当しています。メカニカルデザインは、私。そしてキャラクターデザインは「ガンダムF91」の作画監督を務めた小林利充氏です。プラモデルを中心としたシリーズですが、設定・ストーリ一面ではサンライズが積極的にバックアップしています。

本書では、その世界観、ストーリー、MS & 人物キャラクター、さらにモデル一諸氏による、改造作例を収録、“シルエットフォーミュラ”を、より一層楽しんで頂こうという内容で構成されています。



MSの新た



ネオガンダムは
アナハイル社が
UC0130年
代をリードすべ
く、その威信を
かけて開発した
新型ガンダムだ。



**RX-99
NEO-GUNDAM**

MOBILE SUIT GUNDAM
SILHOUETTE FORMULA 91
IN U.C.0123



GUNDAM
RXF91



SFP (シルエット
フォーミュラ計画)
によって完成させら
れたアナハイム版の
F91。ウェスパー、
ビームシールドなど
それまでのアナハイ
ムのMSに見られな
かった装備を持つ。

SILHOUETTE FORMULA

PROJECT——それは、小型MSの開発競争に遅れをとったアナハイム・エレクトロニクスが、非合法に入手したサンナリイの極秘資料から得た“F計画”の技術を基に開発した、新たな、モビルスーツ群のことだ。今、月の裏側“ゼブラゾーン”で、その運用試験が行なわれようとしていた……。



RGM-111 HARDYGUN



SFPによって製造された小型MSの1機。サンナリイからの技術供与により、F71 Gキャノンを上回る戦闘能力を持つ



F71B
G-CANNON MAGNA

アナハイムによって生産されたGキャノンの改良機。単なるライセンス生産ではなく、SFPの最新テクノロジーが投入されている。



ZEBRA-ZONE

が行なわれていた

アーハイム・エレクトロニクス
サイド3と月の中間には、月と地
球の間に位置する暗礁海域のよう
な「ゼブラゾーン」と呼ばれる宇
宙の墓場があった。

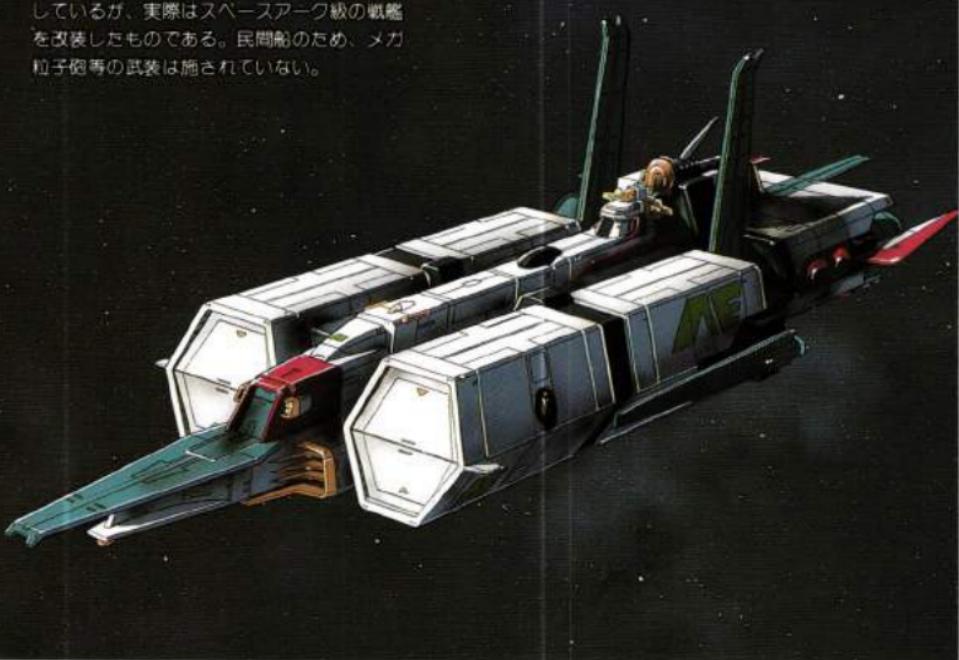
アーハイム・エレクトロニクス
社は、この海域付近で極秘裏に新
型MSの運用試験を行なっていた。
外観を輸送艦風に偽装したMS
試験艦「プレイウッド」は、三ヶ
月間続いた模擬戦闘試験の最終段
階を迎えていた。

あと一週間後に迫った試験終了
を前に、快調にメニューを消化し
てゆくA・E社の試験部隊。だが、
実用試験を行なっていたのは、彼
らだけではなかった。ゼブラゾー
ンをはさんだ対面の海域に、もう
一隻の宇宙艦が存在していたのだ。
奇しくも双方の試験コースは、
ゼブラゾーンへと向っていたので
ある。

宇宙世紀0123年2月
月の裏側。かつてのジオン共和国
サイド3と月の中間には、月と地
球の間に位置する暗礁海域のよう
な「ゼブラゾーン」と呼ばれる宇
宙の墓場があった。

■プレイウッド

連邦軍の輸送艦コロンブス級に似た外観を
しているが、実際はスペースアーヴ級の戦艦
を改装したものである。民間船のため、メガ
粒子砲等の武装は施されていない。



●CHARACTER



■ケビン・フォレスト
A・E社専属の民間
テストパイロット。天
才的な操縦技術に長け、
軍人であるトキオをラ
イバル視している。19
歳。



■トキオ・ロ・ランドール
少尉
RXF-01のパイロット。
“SFP”的テストパイロッ
トとして、連邦軍よりA・E
社に出向している。戦争を知
らない世代で、戦闘は経験不
足である。21歳。



月の裏側の暗黒海域でSFPの運用試験



テストパイロットとしてアナハイムに派出している地球連邦軍のトキオ・D・ランドール少尉は、アナハイム専属のケビン・フォレストとともに、試作MSの運用試験を行なっていた。



小型MS開発で新興勢力のサンリイ（海軍戦略研究所）に遅れを取ったアナハイムは、連邦軍の次期主力兵器の開発製造から排除されることを懸念し、F71のOEMにてアーディガン版F91のRXF91で

トキオはRXF91に搭乗、ケビンのハーディガンと模擬訓練の最

中だった。

トキオはRXF91に搭乗、ケビンのハーディガンと模擬訓練の最中だった。たがいの機体に付着したマークは、それぞれに未知の敵の存在を証明していた。

機体を収容し、状況の把握と分析を進めるブレイウッドの乗組員達。遭遇したMSの外観から、この海域にC・V軍の艦船があることは解った。しかし、彼らのクロスボーン・バングードについての認識は、ジャンク屋から身を起こして一大コンツエルンを築き上げたロナ家の私兵という程度のものだった。やがて、C・Vが決行しようとする作戦行動については、知る由もなかつた。



■カール・シュピット

元、ネオ・ジオン軍の大尉でMSパイロット。A・E社に拾われ、第二の人生を送っていた。52歳。



■アルバート・エルゼナー

アナハイムテスト部隊のチーフエンジニア。アイリスの亡くなつた父の親友。42歳。



■アイリス・オーランド

A・E社のエンジニア助手。アイスドールと綽名され、冷静で常に理論的な思考をする。20歳。

オ・ジオン残党の娘だった

同様に“ゼブラゾーン”的対岸では、C・VのMS試験部隊“ダーラクタイガ一(闇の虎)”隊も、この事態の分析を行なっていた。連邦系MS部隊との接触を重要視したD・T隊の指揮官、シェルフ・シェフィールド大尉は試験の中止を宣言。C・Vの機密保持のためブレイウッドへ攻撃を仕掛けようとする。

時に宇宙世紀0123年2月。鉄仮面が率いるC・V軍が、ブロンティア・サイドに侵攻する僅が一ヶ月前のことである。



●0100年以後に開発されたMSは、それ以前の機体より小型化になった。0190年代のMS、ギラ・ドーガがとても巨大に見える！



●CHARACTER



■シェルフ・シェフィールド大尉

C・V軍、新型MS試験部隊の隊長。「フレイム・タイガ一(炎の虎)」の異名をとり、真紅に塗装されたMS群を率いる。23歳。



■ザビーネ・シャル大尉
“黒の部隊”的隊長。シェルフ・シェフィールド大尉とは同時にC・Vへ参加した、竹馬の友の間柄。他人への猜疑心が強い。24歳。



美しき女戦士はネ

■レイラ・ラギオール

ゼブラゾーンでのサバイバル生活は、彼女が幼い時からMSに乗ることを強要し、18歳という年齢の割にMSの操縦をうまくこなす少女へと成長させた。



エルゼナー元大尉の指揮下、臨戦体制をとるブレイウッドに襲い

■レイラ・ラギオール

レイラの姿勢は、まるで戦士の如く、力強い立ち方。紫色のZeta Gundamの機体色をそのまま反映した服は、彼女の強さと個性を強調している。

打開策を講じるため、月のアナハイム本社に連絡をとろうとするブレイウッドのテスト部隊。しかし、すでにD・T隊はゼブラゾーン周辺に対し、ミノフスキーパーツの散布を終了。通信は途絶えさせられてしまう。

エルゼナー元大尉の指揮下、臨戦体制をとるブレイウッドに襲い

来る真紅のD・T隊のMS部隊。両者の戦闘は、ゼブラゾーン近くへと展開。ブレイウッドはD・T隊の追撃から逃れるために、ゼブラゾーンへと侵入した。そこで、宇宙世紀初期のものと思われるスペースコロニーの港湾ブロックへ避難することに成功した。

廃棄され、荒れ果てたコロニー。

しかし、居住区の一角に灯が確認された。そ

の時、艦内に警報が鳴り響いた。1機のMSが接近してきた。シヤアの動乱時の旧式MS、ギラ・ドーガである。

レイラの家に案内されたトキオ

とケビンは、比處に生きる人々が生活していた。

レイラの家に案内されたトキオとケビンは、比處に生きる人々がかつて、ネオ・ジオンの兵士だった者とその家族であることを知る。

今は戦いを捨て、世捨て人となり、ひつそりと暮していたのである。

居住区には、百人あまりの人々が生活していた。

モーリス・オバリー少尉

D・T隊が初配属の新人パイロット。シェフィールド大尉の部下となり機体を預かつたことを誇りに感じている。19歳。



■ジレ・クリューガー大佐

C・V軍の実力者、“鉄仮面”ことコツコ・ロナの副官。シェフィールド大尉を疎ましく思っている。39歳。

偶然にも、レイラの父アデル・ラギオールは、カール・シユピツツの元同僚だった

■マイツラー・ロナ総帥

ブッホ・コンツエルンの創始者シャルンホルスト・ブッホの息子。貴族政治結社クロスボーン・パンガードの創設者であり、理念的指導者で、ロナ家の象徴でもある志士。69歳。

を見せる日がやって来た

束の間の休息——そして、旧友との再会。やはり元ネオ・ジオンのMSバイロットであるシュビツ大尉の存在もあり、住人達に受け入れてもらつたブレイウッドのクルー達。しかし、コロニーの外には、依

然としてD・T隊の影が見え隠れしている。全員での脱出は不可能。軍人であるトキオが単機脱出を計り、連邦軍に救援を求める計画が決まつた。発進の准备が進む中

偵察に出ていたレイラのギラ・

飛び出して行くケビンのハーディガン。テストバイロット隊長のカール・シュビツツもGキャノンマグナで出撃した。D・T隊の包囲網突破のためにロケットブースターを追加装備したRXF91が発進する。トキオは

無事脱出できるのか。



■鉄仮面

口ナ家の嫡養子、カラツゾ・ロナ。C・V軍の実質的な最高指揮官。ラフレシア計画を発案し、マララフレシアを完成させた。推定年齢45歳。



■アイトル・ホルスト

SFPのためにA・E社に艦長として雇われた、元連邦軍大佐。極めて小心な男である。55歳。



■バズ・ガレムソン中佐

オールズモビル掃討の一環として、ネオ・ジオン残党狩りを受け持つ、連邦軍の傭兵部隊隊長。35歳。

遂にSFPの真価

D・T隊は総力をもつてRXF 91を阻止しようとする。ぼろぼろになりながらも、月のアナハイム本社へと辿り着くRXF 91。そこには試運転を待つばかりの新型MS RX-99ネオ・ガンダムが完成していた。すぐさまブレイウッドへ取つて返そうとするトキオに、連邦軍のバズ・ガレムソン中佐の一個部隊が同行することになった。

ガレムソン中佐の目的は、なんと元ネオ・ジオン兵士の掃討にあつたのだ。懇然とするブレイウッドのクルー達。いや、戸惑を見せているのは彼らだけではなかつた。

事の成り行きを報告しようとしたD・T隊では、C・V軍司令部より、ガレムソン中佐の部隊との共同作戦を展開せよとの命令を受け取つていたのだ。すべては、A・E社とC・V軍司令部によつてあらかじめ計画されていたことだつたのだ。

ここに、宇宙世紀史上、類を見ない不可思議な出来事である『幻のZEBRAの戦闘』事件が、生れることになるのである……はたして、それは!?

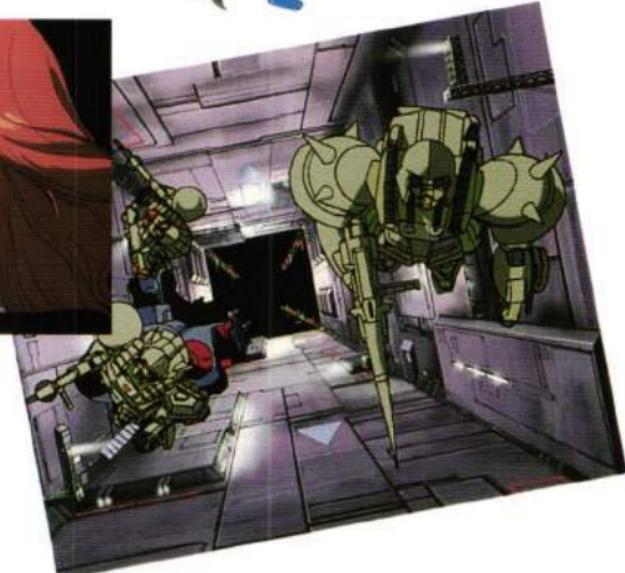


今、
Gバードが
飛翔する!



■ベラ・ロナ

訳あって里子に出されているが、由緒正しいロナ家の跡取り。コスモバビロニアの建国は、彼女を発見することから始まる……。0123年には17歳になっているはずだ。



PROJECT HISTORY

U.C.0093年9月

連邦軍の諮詢機関であった戦略戦術研究所が“海軍戦略研究所”(S·N·R·I)として再編される。

U.C.0102年

サナリイ、連邦政府にMSの小型化を提言する。

U.C.0105年11年

A·E社が連邦軍の依頼を受け、小型MSの開発に着手。

U.C.0108年7月

ブッホ・エアロダイナミックス社、小型高性能MS、テッサ・タイプ試作1号機をロールアウト。

U.C.0109年

RGM-109ヘビーガン、ロールアウト。

U.C.0111年9月

サナリイによるF90の1号機がロールアウト。及び各種オプションA·D·S·M·Hが本体に先行して完成。

U.C.0111年10月

連邦軍、次期主力MS開発を決定。サナリイのF(フォーミュラ)90シリーズがA·E社のMSA-120を下し、正式採用となる。

U.C.0112年2月

F90運用試験用のオプション、L·V·Pが完成。

U.C.0112年6月

A·E社内で極秘裡に“シリエットフォーミュラ・プロジェクト”(SFP)始動する。

U.C.0115年4月

F71G・キャノン、ロールアウト。

U.C.0116年7月

F91、ロールアウト。バイオコンピュータの調整に手間どる。

U.C.0119年

ラフレシア・プロジェクト発動。

U.C.0121年2月

F90及びF91運用テストのため連邦軍巡洋艦エイブラムスに搬入される。

U.C.0121年3月

サイド4空域でテスト飛行中のF90の試作II号機ガオールズモビルの部隊によって強奪される。

U.C.0121年10月28日

F90II号機、改修完了と同時にI·Jタイプのオプションも完成。

U.C.0122年8月

A·E社、RXF-91シリエット·G、ロールアウト。

U.C.0122年11月

シリエット·Gの極秘運用テスト開始。

U.C.0122年12月

F91、頭部コンピュータ換装のため、フロンティアIに移送される。

U.C.0123年2月

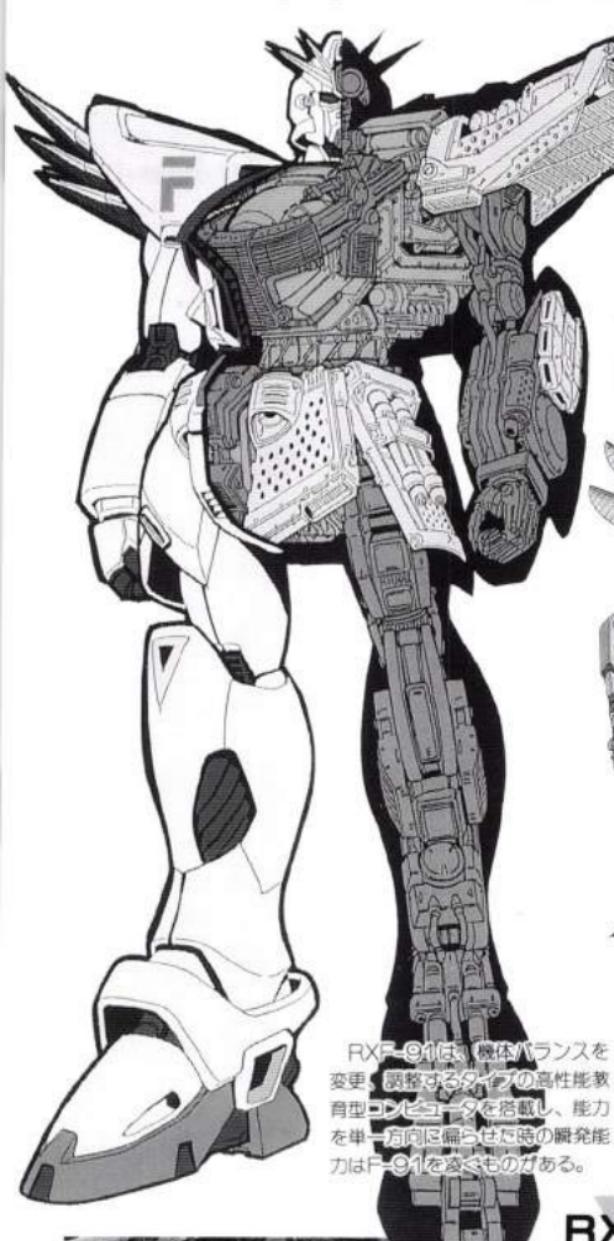
RX-99、ネオ・ガンダム、ロールアウト。同時にRXF-91の改修が進められる。

U.C.0123年3月

クロスボーン、バンガード、フロンティアサイドへ侵攻。



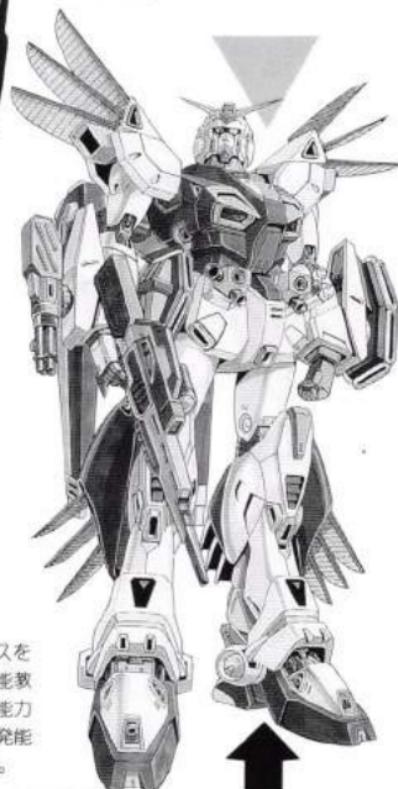
SILHOUETTE FORMULA



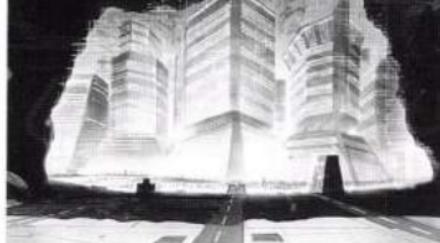
S.N.R.I

Strategic Naval Research Institute

地球連邦海軍戦略研究所の略称。A・E社を上回る高性能MS、“F90”を自主開発し、新時代のMS開発競争に一石を投じた。ことにバイオ・コンピュータの開発においてはA・E社を凌駕している。



RXF-91



A.E CO. LTD
Anaheim Electronics

月に本拠を置く複合企業。家電製品から作業機械、はては兵器まで製造している。モビルスーツ開発は一部門にすぎないが、0080年代半ばから0100年代まで連邦軍のMS製造を、ほぼ一手に握っていた。

MS発展史

Mobile Suit Development

RGM-109

A.E

RGM-111

RGM-89

サンリイの提言により、MSの小型化に着手。

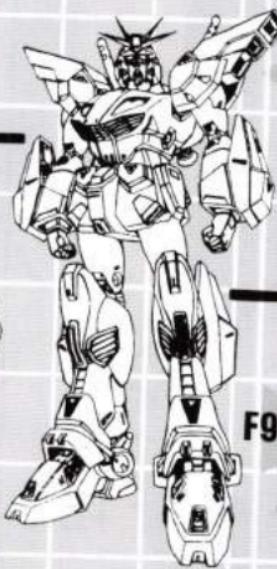
S.N.R.I

F71

F70

F90I

F90II



「F計画」の発端は、宇宙世紀102年にサンリイが連邦議会に提案した「小型MS開発にあたつての提言」に始まる。

高騰するMSの開発費を圧縮し、肥大化した軍事予算を「シャアの動乱」後のコロニー再建へ廻すことが目的だったのだが、この提言をMSの開発を一手に握るアナハイム・エレクトロニクスは即座に受け入れようとはしなかった。

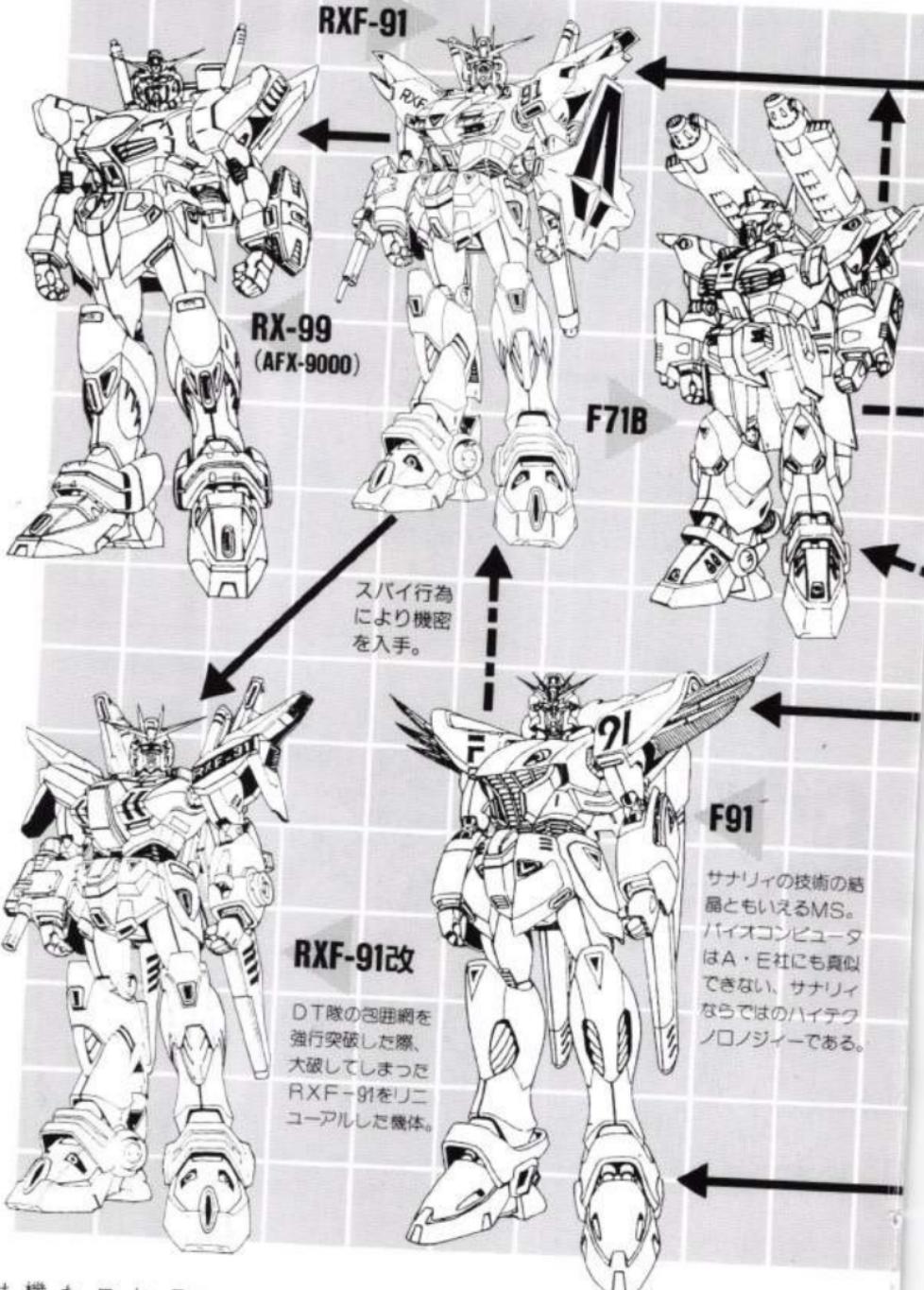
MSの開発より、コロニー資材や宇宙艦船の建造、それにまつわる工事受注がA・E社に巨利をもたらしたからだ。同時に反地球連邦政府運動の表面的な鎮静化が新型MSの開発を鈍化させていった。ジエガンの傑出した汎用性を評価しなくてはならないのだろうが、それがA・E社の小型MS開発を遅らせる原因となつたのだ。

A・E社が連邦軍の発注により連邦軍の主力MSの座は、RG M-89ジエガンの改装で充分だった。ジエガンの傑出した汎用性を評価しなくてはならないのだろうが、それがA・E社の小型MS開



地球連邦軍

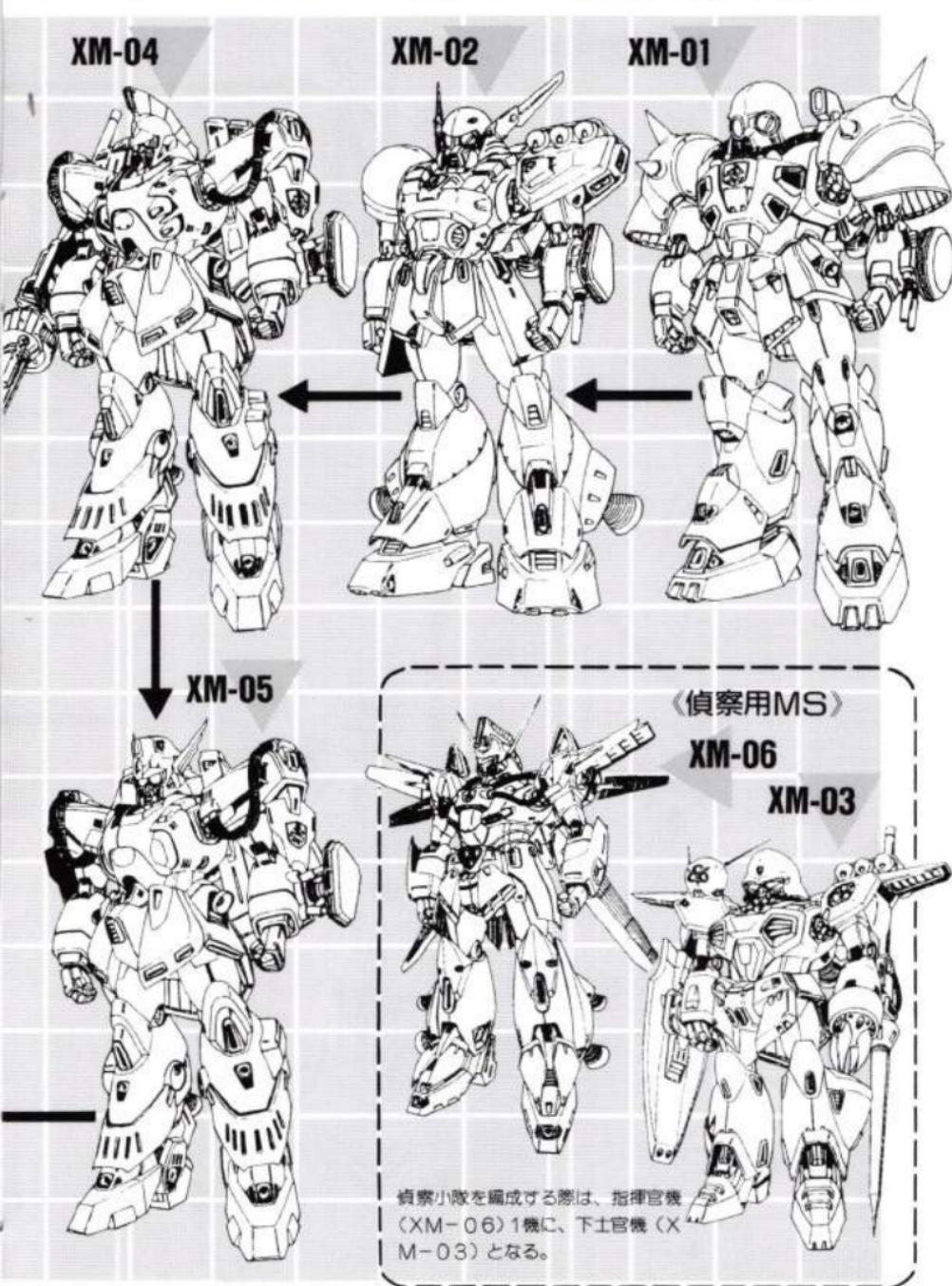
U.N.T SPACY



小型MSの開発に着手してから、次世代MSの旗手となるべきはずだったRG M-109ヘビーガンの試作1号機完成まで、実に5年という歳月が経過した。このRG M-109の性能に不満を持ったサナリイは連邦議会の承認を得て自主開発を始め、F90を完成させた。このF90は、0112年の軍の評価審査でA・E社の競争試作機“MSA-120”を下し、採用を勝ち取ってしまった。

さらに0115年、支援用MSとしてF71 Gキヤノンの調達が始まった頃になつて、ようやく、A・E社に焦りの色が見え始める。それは“F計画”的到達点ともいふべく性能を持った高性能MS F91の完成が目前という情報が流れたからだ。社会情勢の面でも、ロナ家の武装化、旧型MSを使った海賊行為の続発と再び、戦乱の機運が漂い始めていた。“SFP”はこんな背景にスタートした。

MS開発史



偵察小隊を編成する際は、指揮官機（XM-06）1機に、下士官機（XM-03）となる。

部門、ブツホ・コンツエルンの航空機
ス社は、宇宙世紀0108年に小
型高性能MS、デツサ・タイプを
完成させた。この時点ではメイン
ジエネレータである核反応炉はア
ハハイムから購入したものを使用
していた。

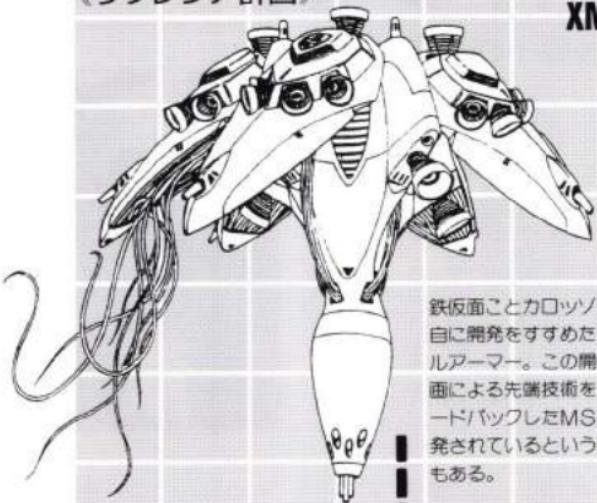
ゲーでは格闘性能が向上した。これに続いてXM-04ベルガ・ダラス、XM-05ベルガ・ギロスが作られた。シェルフノズルというジエネレータを機体の外へ取り付けたユニークな設計が特色である。この改良型としてXM-05Bベルガ・バルスが存在する。



Crossbone Vanguard

《ラフレシア計画》

XM-07A



鉄骨面ことカロッソが独自に開発をすすめたモビルアーマー。この開発計画による先端技術をフィードバックしたMSが開発されているという情報もある。



XM-05B



D・T隊に配備されているC・V軍の最新鋭MS。シェフィールド大尉が搭乗。

同時に開発。

XM-07G



C・V軍の型式
番号は、連邦軍側
が機体識別のため
に付けたコードネ
ームで、実際の開
発ナンバーや諸性
能は、クロスボ
ン・バングードの
実態とともにまだ
解明されていない。

MSに偵察用MSが加わるという陣形で作戦行動を取る。XM-03エビル・Sは偵察用MSとして開発された機体で、高級士官用の最新型がXM-06ダギ・イルスである。このほか、さらに次世代を考慮して開発されたXM-07ビギナ・ギナ、XM-05G・ビギナ・ゼラ(ビギナ・ギナの火器強化タイプ)もロールアルアウトしている。

Night Raid

RGM-111 ハーティガン バリエーション ナイトレイド

■夜襲降下作戦タイプ

【機体設定】宇宙歴0118年8月、地球圏インド地方で起つた、旧ネオ・ジオンを信奉する反地球連邦政府組織による内乱鎮圧のために出撃した降下作戦部隊仕様。作戦は夜間に決行されたため、夜間戦闘用の特殊装備が施されてい。この鎮圧作戦を指導したのが、後にオールズモビル掃討の一環の傭兵部隊隊長として名を挙げたバズ・ガレムソン中佐である。

機体色は夜間戦闘用という想定からダークグリーンとミッドナイトブルーでまとめてみた。ハーティガン本体には、頭部、胸部、両肩アーマーに各種センサー類を追加してある。



【作例解説】これから紹介する一連の作例は、いずれも「シルエットフォーミュラ」シリーズのキットをベースとした改造作例である。第一に紹介するRGM-111ナイトレイドは、一見ではハーティガンと思えない、違った形のMSになっている。これは背部にF90 I号機Aタイプの増加機動ユニットを取り付け、F90 II号機Lタイプのロングライフルを腰に装着させた。MS版の降下猟兵として空挺作戦を実施するのである。ロングライフルには、地上での作戦行動を考えて、バイポッドを追加してみた。左腕のハードボイント(H.P.)に流用ハーツで構成したモーターキャノンを付けたため、シールドは右腕にもつてきただ。

▼フォールディング状態のロングビームマシンガン。バイポッドも折りたためるようにしてある。



▶シールドは可動に支障をきたさぬように、ノーマルより周囲を切りつめて小型化した。

▼本体はF90 I号機Aタイプの増加機動ユニットだが、左右にPタイプの主翼を接合してある。



type **NR**



▼ロングビームマシンガンを両手で構えだところ。バイポッドを開くと、下の写真のような形になる。



Mobile Suit Variation

RGM-111 ハーディガン バリエーション ブリッツクリーク

■電撃作戦仕様

type B.T.





▶脚後部には、F90 I号機Vタイプのフィンをとりつけてみた。



▲矢印右ガヘビーガン、左ガハーディガンのフレネードラップ。



▲腕のミサイル弾ボットは、ガレージキットのヘビーガン用パーツから。

「機体設定」宇宙歴01119年、サイド1のコロニー、24バンチで勃発した反地球連邦政府組織によるゲリラ活動鎮圧のため、出撃した第106守護中隊の専用機。同隊はコロニー内、戦闘のために特別訓練を受けたスペシャルフォースである。

RGM-109とRCM-111の中間形態ともいえる特色を持つ機体で、サナリイからの「F計画」データ供与により、ヘビーガンを数倍上回る高性能機となつた。連邦側のMSには珍しく、スピア(槍)タイプの武器を使う。

ガン。頭と肩アーマーはヘビーガン。脚、足、バツクバツクはハーディングである。また、サイドアーマーは右腰側がハーディガン、左腰側がヘビーガンという折衷スタイルである。右腕のミサイル弾ボットはガレージキットのヘビーガンバーク(エリジョンバーク)から。

本体色はダークイエローとネービーブルーを基調にまとめてみた。ジムコマンドはセールカラーとマホガニーぐらいたが、ハーディガンのイメージカラーであるブルーを残してみたかったからだ。



▲F90 II号機JタイプのロングライフルとそのEバックから作った、ビームスピア。

Blitzkrieg

さて、連邦のMSとしては貴重な武器であるビームランサーの正体は、F90 II号機Jタイプのロングライフルの中央部を切って前後を逆にし、同ロングライフルのEバックをつけたもの。グリップは流用バーツ、シールド部分は篮板、そしてビーム部分はエボキシ板による造型である。デザインとしては、Iタイプのビームランサーの形状を参考にし、そのプロトタイプという気分である。

機体色は、コロニー戦用のスペシャル仕様ということで、「0080」のジムコマンド(G型)を参考にしてみた。

機体色は、コロニー戦用のスペシャル仕様

ということで、「0080」のジムコマンド(G型)を参考にしてみた。

Mobile Suit Variation

F71B Gキャノン マグナ

バリエーションタイプ

スーパー・デストロイド

■強化火器支援タイプ



type **S.D.**





▼中央が、ノーマルのヘビーガン用ライフル。



両脚の増加ブースターは、ガレージキットのバーツを使っている。F90タイプのブーストバッフルを使ってもよい。



▲Gキャノンマグナのキットに手持ちの武器はつかない。設定上は、ヘビーガンのライフルを共用する。

【機体設定】宇宙歴0121年1月、サイド4周辺の暗礁海域にオーレズモビル残党部隊の拠点があることが確認された。地球連邦軍は直ちに第301MS中隊に、奇襲を命じた。この戦闘にはRMS-1109に交って、最新鋭の中距離支援型MSであるF71が加わった。その中にサナリイの試作火器システムを試験的に装備した、スーパーストロイドタイプのAE社製F71B「Gキャノンマグナ」が存在した。

【作例解説】Gキャノンは、F(フオーミュラ)計画における、最新の支援型MSで、このシリーズにおけるガンキャノンといった存在である。今回の作例は、改良型のGキャノンマグナだ。これをベースに、重武装タイプを製作してみた。「F90 & F91」、「シルエットF」シリーズのキットは、「HP(ハンドポイント)」というウエポン取り付けのための接合点がある。ほとんどボリキャップ内蔵なので、このHPをうまく生かすだけで、いろいろなバリエーションが作れるわけだ。

右側の肩アーマー、ビームキャノン、両腕の武器さらに両脚の増加ブースターはガレージキットのGキャノン用のバリエーションバーツを使っている。

右脇腹からつきでたガドリング砲や腰アーマーのロケット弾バッフルなどは、F90テストロイドタイプ(D)のバーツから流用した。銃は、ヘビーガン専用ビームライフルを出力強化のスナイバースタイルに改造してある。

機体色は青がスカイブルー+コバルトブルー、白がグランプリホワイトによる。



Super Destroyed

Mobile Suit Variation



XM-07G ビギナ・ゼラ AINZWEIL KAMPF

■シングルコンバットタイプ

type F.T.E





▶F90II号機 I タイプのブースター兼用の大型シールドとよく似ているが、ほとんどPタイプのユニットの巻き合わせで製作した。



▲背部にはシェルフ・
シェフィールド大尉に
ちなんで、シェルフノ
ズルを装着。



【機体設定】 ビギナ・ゼラの特殊装備仕様、ダーク・タイガー隊の隊長、シェルフ・シェフィールド大尉の要請により、ブッホ・エアロダイナミックス社が完成させたビギナ・ゼラの量産機に特殊作戦用の追加装備を装着した機体。 サナリイが、F90-II号機Iタイプの装備として試案した、シールド状の大型ブースターとショットランサーとよく似た装備をしている。来たるべき、アナハイム社の新锐機ネオ・ガンダムとの一騎打ちを考慮した機体と思われる。

【作例解説】ビギナ・ゼラの量産機をイメージして、C・V軍のベルガ・ギロス、ベルガ・ダラスの機体色でまとめてみた。ただし、紫は赤を強くし、アクセントとしてグレーを入れてみた。黄は色のバランスがとれないようと思えたので使用しなかった。こうしてみると、ガンダムタイプの頭部にしてもC・V軍機にしか見えないから不思議である。フレイムタイガーフィールド大尉には、紫の方がよ

く似合うと思う……。ヴェスパーはやめて、ベルガ・ギロスのシェルフノズルに換えてみた。(これは人物名との馴染落?)

シールド形のブースターユニットは、F90-I号機Pタイプの装備をあれこれと継ぎ合わせてまとめたものだ。やはり、サナリイにはイも潜入しているのだろうか。

ショットランサーは、これもベルガ・ギロスから。限りなく、ベルガ・ギロスに近いビギナ・ゼラなのである。

A purple and white pen with a futuristic, jet-like design, including a small propeller at the top.

Flamme Tiger Einzelkampf

Mobile Suit Variation

XM-01 デナン・ゾン ダークタイガー隊仕様



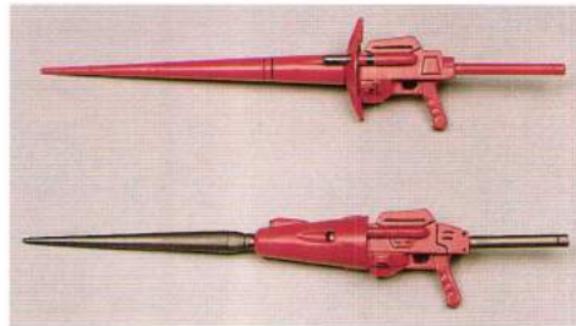
XM-05B ベルガ・バルス





▲C・V軍MSの特徴であるテュアル・アイを擬装するためのモノアイタイプのゴーグル。

▼上がキットのデナン・ゾン用ショットランサー。下は試作タイプのもので、モーリス・オバリー機が使用。



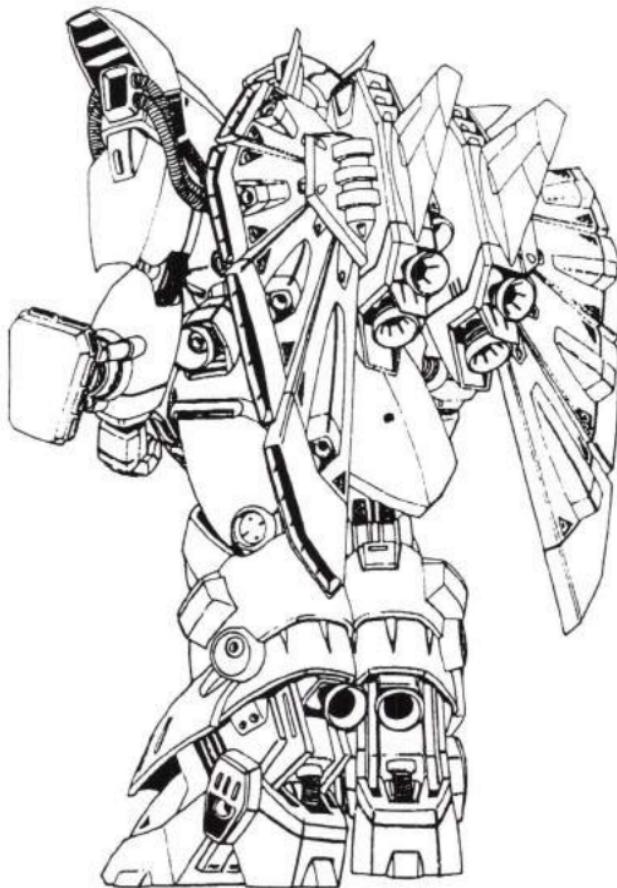
【機体設定】ダークタイガーチームには、XM-01、XM-02、XM-03そしてXM-05B、XM-07Gが配備されている。その中で、このXM-01デナン・ゾンはモーリス・オバリー少尉が搭乗、ブレイワードのMS実験部隊と初めて遭遇した機体である。ショットランサーは試作型で、訓練用のため先端が合成ゴム製になっている。

【作例解説】

“F91。シリーズの1/100デナン・ゾンのキットを塗装換えたもの。赤はサンダーバーズカラーのレッド、パープルは一般型ベルガ・ギロスと同じ、白を加えたものの。関節色、武器などは黒鉄色。ダークタイガーチームマークはコピーに着色したものを使用。

このデナン・ゾンの特色であるモノアイ状のゴーグルは、エポキシバテで自作した。頭部バーツの目（テュアルアイ）の部分に模型用のグリスをぬりつけておき、その上にエポキシバテを盛る。こうしておくと、硬化後、楽に分離させられるのだ。さらに、表面にテープをつけて行けば完成である。

ショットランサーは、キットのバーツを加工した。



【機体設定】XM-07Gに搭乗するまで、シェフィールド大尉が愛機としていた機体。XM-05ベルガ・ギロスの改良型で、ウイング状に構成されたシェルフノズルが特色。バナナ型マガジンを二列に並べた機銃を備えたショットランサーを使用する。ジエネーター出力、スラスター推力、アボジモーター数いすれも向上、前期型をうわまわる高機動性能を発揮する。

【作例解説】ベルガ・パルスは、プラモデル化のラインナップに含まれていないため、ペルガ・ギロスのキットをベースに自作するか手はない。現在、プラキャスト製改造バーツとして、Bクラブ・ガレージツで商品化を企画中。

Kunio Okawara original



**XM-07S
VIGNA-GHINA
Berah Ronah SPECIAL**

「MSハンドブック／シルエットフォーミュラ」平成4年10月30日発行 発行人・山科誠
発行所・〒111-8081 東京都台東区駒形1-14-8 株式会社バンダイ ホビー事業部

編集人・川口亮「」岸山博文 協力・サンライズ企画室